

## 編集後記

たいしたお役に立てず、編集委員長の星名先生本当にご苦労さまでした。  
卒業生の原稿を担当させていただきましたが、もう自分の卒業期の倍になっているのですね。  
これまで何をやってきたんだろうと思わず自問自答してしまいました。 咬合制御学分野 八巻正樹

今年も、卒業・入学など、別れ・出会いの季節がやってきました。このたび新潟大学を去られる皆様からは、貴重な原稿をお寄せ頂きありがとうございました。様々な改革の中で、大学にも旧体制との別れ、新体制との出会いがあります。これまで長年、数多くの変革の中で新潟大学のために尽力されてきた方々の体験記は、これから新体制を迎える我々にとって大いに役立つものであります。今後行われる改革が、大学を去って行く方々、これから大学に入ってくる方々も含めた大学関係者・全国民にとってより有意義なものになるように、スタッフの一員として微力を尽くしたいと考えています。

顎顔面口腔外科学分野 飯田明彦

今回が初めての歯学部ニュース編集委員でありました。折しも、大学改革のさなか歯学部ニュースもここ数号は改革をキーワードにした原稿も多かったように思います。原稿をご執筆いただいた各先生方もこのようなご多忙の中、思いの丈を語っていただき誠にありがとうございました。思わず引き込まれる原稿が多く、気持ち引き締まる思いでした。歯学部ニュースは職員、学生、ご父兄の皆様と歯学部に関わる幅広い方々に読まれます。機会があれば、読者からの感想を聞いてみたいと思うのは私だけでしょうか。

加齢・高齢者歯科学分野 橋本明彦

大学改革の中、我が歯学部も目まぐるしく日々変化しています。そのような折り、歯学部の状況を具に伝える雑誌「歯学部ニュース」の編集に携わることができ光栄だと思っています。星名編集委員長を中心に多くの人の協力のもと、よりニュース性の高い「歯学部ニュース」ができたと思います。最後に、原稿依頼を快く引き受けて下さった皆様に厚く御礼申し上げます。 咬合制御学分野 石井一裕

ソルトレイクオリンピックやサッカーワールドカップなどスポーツビッグイベント目白押しの2002年は、名古屋まで猛吹雪といった波乱の幕開けではありましたが、その後は例年になく晴れて穏やかな日が多く、うれしい反面地球温暖化について深刻に考えたりもしました。ところで、今回は主に「歯学祭」パンフレット担当ということで、普段あまり個人的に触れ合うことのない学生と一つの物を作り上げることができ、感慨も一入でした。この場をお借りして、ご協力・ご指導いただいた方々へ感謝したいと思います。本当に有難うございました。あまり今回の編集の仕事には貢献していませんが、待ち遠しい春の訪れとともに発刊される「歯学部ニュース」を楽しみにしています。

加齢・高齢者歯科学分野 井伊（伊東）直子

春は卒業、ご退官、教授就任など、おめでとう、お別れがあって、出会いがあります。21世紀の初年度、まさに大学院・学部、病院組織改革の激動初年度が終わろうとしています。特集として、各教室・医局からの近況について、ご執筆を賜りました。原稿を拝見しますと、引き込まれるように読みいってしまい、各教室の現況がひしひしと伝わってきます。“激動の初年度終える”と題した本号が、多くの読者の目にとまれば、編集委員として望外の喜びであります。種々ご多忙の折り、原稿をご執筆いただきまして誠にありがとうございました。編集委員一同、遺漏なきよう、編集、校正いたしたつもりですが、不備の点がありましたら、どうかご容赦賜れば幸甚です。 顎顔面口腔外科学分野 星名秀行